

## 令和6年度 学校評価の結果と分析(肯定的回答率の変容)

増減の記号 増[△+3、△△+5、△△△+10] 減[▼-3、▼▼-5、▼▼▼-10]

【評価指数①】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
		昨年度	今年度	変容		
学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	生徒	85.7 %	82.3 %	-3.4	▼	◆生徒、保護者ともに肯定的回答率が若干下降している。学校行事を通して、やりがいや達成感を感じている生徒の割合が下がるとともに、教員の自己評価の高さとの乖離が課題である。 ○「体育祭」や「ひんがし祭」等の学校行事において、より一層、生徒の自主性・創造性・責任感を重視した指導を行うことで、学年及び学級の団結力が高まる生徒主体の学校行事の充実を図る。
	保護者	85.1 %	82.9 %	-2.2	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数②】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	生徒	%	94.4 %			
	保護者	%	93.4 %			
	教員	%	100 %			
【評価指数③】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	生徒	73.4 %	70.5 %	-2.9	-	
	保護者	86.5 %	86.1 %	-0.4	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数④】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	生徒	%	88.7 %			
	保護者	%	79.2 %			
	教員	%	88.5 %			
【評価指数⑤】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	生徒	93.8 %	95.7 %	1.9	-	
	保護者	86.2 %	91.6 %	5.4	△△	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	

## 令和6年度 学校評価の結果と分析(肯定的回答率の変容)

増減の記号 増[△+3、△△+5、△△△+10] 減[▼-3、▼▼-5、▼▼▼-10]

【評価指数⑥】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
		昨年度	今年度	変容		
学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	生徒	93.3 %	96.1 %	2.8	-	◆生徒、保護者、教員ともに9割を超える肯定的回答率であり、良好な状態を維持している。生徒は大変落ち着いて学校生活を送っていることや、生徒や保護者の意見を尊重して毎年校則を見直していることが奏功しているものと考えられる。 ○引き続き、教員が指導体制の変化に対応し、実情に応じた適切な指導を行っていくことで、生徒が社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指す。
	保護者	92.6 %	93.8 %	1.2	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑦】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	生徒	75.4 %	80.2 %	4.8	△	
	保護者	58.5 %	69.6 %	11.1	△△△	
	教員	96.4 %	100 %	3.6	△	
【評価指数⑧】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	生徒	96.2 %	94.9 %	-1.3	-	
	保護者	94.9 %	95.6 %	0.7	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑨】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	生徒	83.2 %	79.8 %	-3.4	▼	
	保護者	88.1 %	78.1 %	-10.0	▼▼▼	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑩】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	生徒	88.0 %	93.4 %	5.4	△△	
	保護者	89.6 %	88.5 %	-1.1	-	
	教員	100 %	96.4 %	-3.6	▼	

## 令和6年度 学校評価の結果と分析(肯定的回答率の変容)

増減の記号 増[△+3、△△+5、△△△+10] 減[▼-3、▼▼-5、▼▼▼-10]

【評価指数⑪】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
		昨年度	今年度	変容		
学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	生徒	91.1 %	89.1 %	-2.0	-	◆生徒、保護者、教員ともに良好な状態を維持している。「学校を明るくする調査」や日々の生活相談等で明らかとなった事案や生徒の困りごとに対して、教員が丁寧に話を聞いたり、相談に乗ったりしている取組が奏功しているものと考えられる。 ○引き続き、学校教育全般において特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っていく。
	保護者	81.1 %	82.6 %	1.5	-	
	教員	96.4 %	100 %	3.6	△	
【評価指数⑫】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	生徒	87.3 %	92.4 %	5.1	△△	
	保護者	84.3 %	84.7 %	0.4	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑬】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	生徒	87.3 %	90.8 %	3.5	△	
	保護者	50.4 %	55.8 %	5.4	△△	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑭】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	生徒	87.9 %	86.6 %	-1.3	-	
	保護者	89.3 %	87.5 %	-1.8	-	
	教員	100 %	100 %	0.0	-	
【評価指数⑮】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システムにより、積極的に情報を発信している。	生徒	96.0 %	92.7 %	-3.3	▼	
	保護者	90.1 %	92.9 %	2.8	-	
	教員	100 %	96.4 %	-3.6	▼	

## 令和6年度 学校評価の結果と分析(肯定的回答率の変容)

増減の記号 増[△+3、△△+5、△△△+10] 減[▼-3、▼▼-5、▼▼▼-10]

【評価指数⑬】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
		昨年度	今年度	変容		
学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	生徒	82.9 %	85.8 %	2.9	-	◆生徒、保護者、教員ともに概ね良好な状態を維持している。主に学級担任が生徒と協力し、工夫を凝らした教室掲示を行っているとともに、学年主任や教務主任が季節に応じた掲示を行っていることが主な要因であると考えられる。 ○引き続き、全教職員で言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めていく。
	保護者	91.1 %	90.2 %	-0.9	-	
	教員	92.8 %	100 %	7.2	△△	
【評価指数⑭】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	生徒	81.0 %	82.6 %	1.6	-	
	保護者	66.7 %	69.3 %	2.6	-	
	教員	96.4 %	96.4 %	0.0	-	
【評価指数⑮】	対象	肯定的回答率				◆重点課題 ○方策
学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	生徒	92.7 %	91.6 %	-1.1	-	
	保護者	92.7 %	94.7 %	2.0	-	
	教員	92.8 %	100 %	7.2	△△	